

黄疸を合併した化膿性関節炎の1例

沖永良部徳洲会病院

小林 翠、井口 竜太、天野 博哉、佐々木紀仁
新垣 宜貞、金城 幸雄

症例 60歳 男性

主訴：左膝痛 右前胸部痛

現病歴：来院5日前に左膝痛と関節腫脹出現。3日前から右前胸部痛も出現。前日から黄疸自覚。当日関節痛悪化し、動けないため救急要請。

既往歴：TB・脊椎カリエス・右股関節カリエス

内服：メラコール(500 μ g)3T分3 ケントンS(200)3T分3 リンゲリース3T分3
Ca剤・ノニエキスを体調が悪い時内服

嗜好歴：アルコール；機会飲酒(年に数回) タバコ；なし

職業：ダチョウ・エミューの飼育

アレルギー：卵

来院時現症：

<Vital signs> BP:176/76,PR:84(整),BT:37.2,SpO₂:94%

黄疸著明。右胸鎖関節・左膝関節の腫脹・熱感・疼痛あり。右上腕外転・左膝関節の伸展/屈曲は疼痛のため不可能。

検査所見：

血算：WBC 20200(Stab 8.0%,Seg 78%,L9.0%,Mono4.0%),

RBC414万, Hb 13.3, Ht 37.7, Plt 15.3万

生化学：GOT 86, GPT 37, ChE 87, AMY 48, ALP 557, LDH 634, -GTP 133, CPK 31,

T-Bil9.8, D-Bil 8.3, T-Cho 79, TP 5.0, Alb 2.7, Glu125, BUN68.2, CRE 1.42,

UA6.9, Na140, K3.9, Cl104, Ca7.3, IP4.0, HbA1C 6.1%, CRP 27.87

凝固：,PT-INR 1.44

尿一般：比重、pH1.015、蛋白(+)、糖(-)、ケトン体(-)、潜血(+)-、ウロビリノーゲン4.0、ビリルビン(3+)

感染症：HBS(-) HCV(-) RPR(-)

膝関節穿刺液(黄色膿性の液 55ml)：蛋白 3.5, 細胞数 123000 (単核球 26.8% 多核球 73.2%)

膝関節X-ray:関節狭小化、骨棘形成、骨硬化像あり

腹部エコー・単純CT：胆石なし 肝内胆管・総胆管の拡張なし

心エコー：疣贅なし

PROBLEM LIST

#1 化膿性関節炎

#2 黄疸・胆道系酵素の上昇

ASSESSMENT

#1 膝関節液のグラム染色からGPC 貪食像見られた。#2 から胆道系の炎症も否定できなかったため ABPC/SBT 3g 3回/日 選択した。#2 D-BIL 優位上昇と、肝酵素の上昇が見られないため胆道系の閉塞等考えられたが、画像上ではそのような所見は認めなかった。

2 造影 CT も検討したがアレルギー体質であることから造影剤使用拒否あり、# 1 の治療継続し、変化を追うことにした。

入院後経過

膝関節は入院時に関節穿刺施行。翌日関節穿刺時に NS 洗浄と CEZ 1 g 関節内投与し、投与 3 日後の穿刺時は軽度混濁した関節液が 10ml 程引けるのみとなった。

(DAY 7)

自覚症状・黄疸の明らかな改善あり。また、関節の腫脹・熱感・疼痛も軽減してきた。また、血液検査上炎症所見、胆道系の酵素も改善してきた。

また、培養結果から関節液・血液培養ともに

Streptococcus agalactiae(Group B)で ABPC sensitive あったため抗生剤点滴続行した。

考察

<成人の化膿性関節炎>

場所：膝・股・肘・肩の順に多い

原因：血行性の感染(最多)・外傷・関節手術・感染性心内膜炎など

起炎菌：黄色ブドウ球菌 淋菌 溶連菌

その他ウイルスで rubella mumps parvovirus HIV HBV など。慢性に経過する関節炎なら結核・真菌。

鑑別診断：痛風・偽痛風・慢性関節リウマチ・変形性膝関節症・外傷等あるが、以下のように診断を進めていく。

治療法：グラム染色に従って抗生剤投与。関節液穿刺・もしくは持続ドレナージなど。

結語

B 群溶連菌感染による化膿性関節炎に黄疸・胆道系酵素の上昇を来した症例であったが、関節炎の治療経過とともに黄疸は改善していった。B 群溶連菌性化膿性関節炎と黄疸については、Septic のであったためとも考えられるが直接の関連性のあるデータはなかった。

感染の原因として先行性の上気道炎なく、蜂刺されが関係している可能性もある。また、以前指摘されてはいなかったがレントゲン上変形性膝関節症もあったと考えられ、易感染状態ではあったと考える。

反省

今回、膝関節の穿刺・洗浄を入院時 3 回しか行わなかったが、本来なら毎日洗浄もしくはドレナージを 2 週間行うことが望ましいとのことで、発熱が続いていたのはその為と考えた。